記 者 発 表

がんばろう！東北

平成２９年度
岩手河川国道事務所の事業概要

平成２９年　３月３１日

国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

<<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
盛岡市上田四丁目２－２
TEL ０１９－６２４－３１３１（事務所代表）

〔河川関係〕

副所長（河川）　三浦 義昭（内線204）
工務第一課長　樋川 満（内線311）
TEL 019-624-3198（工務第一課直通）
工務第三課長　大平 知秀（内線321）
TEL 019-624-3199（工務第三課直通）

〔道路関係〕

副所長（道路）　木越 養一（内線205）
工務第二課長　岩渕 誠（内線411）
TEL 019-624-3195（工務第二課直通）
交通対策課長　佐藤 優（内線471）
TEL 019-624-3291（交通対策課直通）

※ 記者発表資料は、「岩手河川国道事務所」のホームページで確認できます。
http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/

「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」及び「地域の活性化」の3分野に重点的に取り組みます。

1. 予算総括

［単位：百万円］

区　分		平成28年度 当初予算	平成29年度 当初予算	事業箇所等
河川関係	国土交通省計上分	5,757	5,393	・北上川上流
砂防関係	国土交通省計上分	719	740	・八幡平山系
道路関係	国土交通省計上分	1,984	2,480	・国道4号・46号 ・釜石花巻道路 （遠野住田～遠野） ・宮古盛岡横断道路 （都南川目道路） （区界～簗川） （平津戸・岩井～松草）
	（参考）復興庁計上分	28,259	23,074	

注1）予算は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。
注2）河川維持や道路維持係る予算については、含まれていません。

2. 主要概要

【河川事業】

○一関遊水地事業
○北上川中流部緊急治水対策事業（紫波地区）
○北上川上流狭隘地区治水対策事業（一関・藤沢地区）
○総合水系環境整備事業

【砂防事業】

○八幡平山系直轄火山砂防事業

【道路事業】

○国道283号釜石花巻道路、国道106号宮古盛岡横断道路、国道4号水沢東バイパスなどの改築事業
○一般国道4号・46号の管理区間における交通安全対策事業、交通事故重点対策事業

平成２９年度　主要事業の概要

河 川 事 業

「継続事業の概要」

○一関遊水地事業（一関市、奥州市、西磐井郡平泉町）

一関遊水地事業では、排水門３基（大林水門・長島水門・舞川水門）、磐井川では堤防拡築（田村地区）を実施します。

○北上川中流部緊急治水対策事業（紫波地区）（紫波郡紫波町）

北上川中流部では、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水において住家を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、早期に効果を発現する治水対策を実施します。

紫波町紫波地区では、用地補償、埋蔵文化財調査、築堤を実施します。

○北上川上流狭隘地区治水対策事業（一関・藤沢地区）（一関市）

宮城県境から砂鉄川合流点までの区間（約16km）の内、一関・藤沢地区において、治水対策として、築堤（輪中堤）等の整備を実施します。

○総合水系環境整備事業（盛岡市、北上市）

盛岡市の北上川・中津川において盛岡市のまちづくりと連携した「盛岡かわまちづくり」として、管理用通路（散策路）や階段の整備，中州撤去等を行い河川利用の推進を図ります。

北上市の北上川と和賀川の合流部において、礫河原・湿地の再生により良好な河川環境を再生するための「北上川上流自然再生」として、環境等の調査及び計画検討を実施します。

平成29年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：河川）



継続事業

事業名	一関遊水地事業 （岩手県一関市・奥州市・西磐井郡平泉町）
事業着手：昭和47年度	**完成・供用の目標年度：平成30年代完成予定**

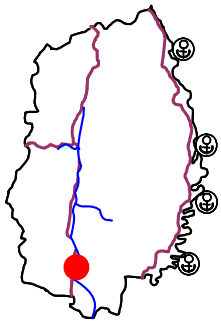
事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

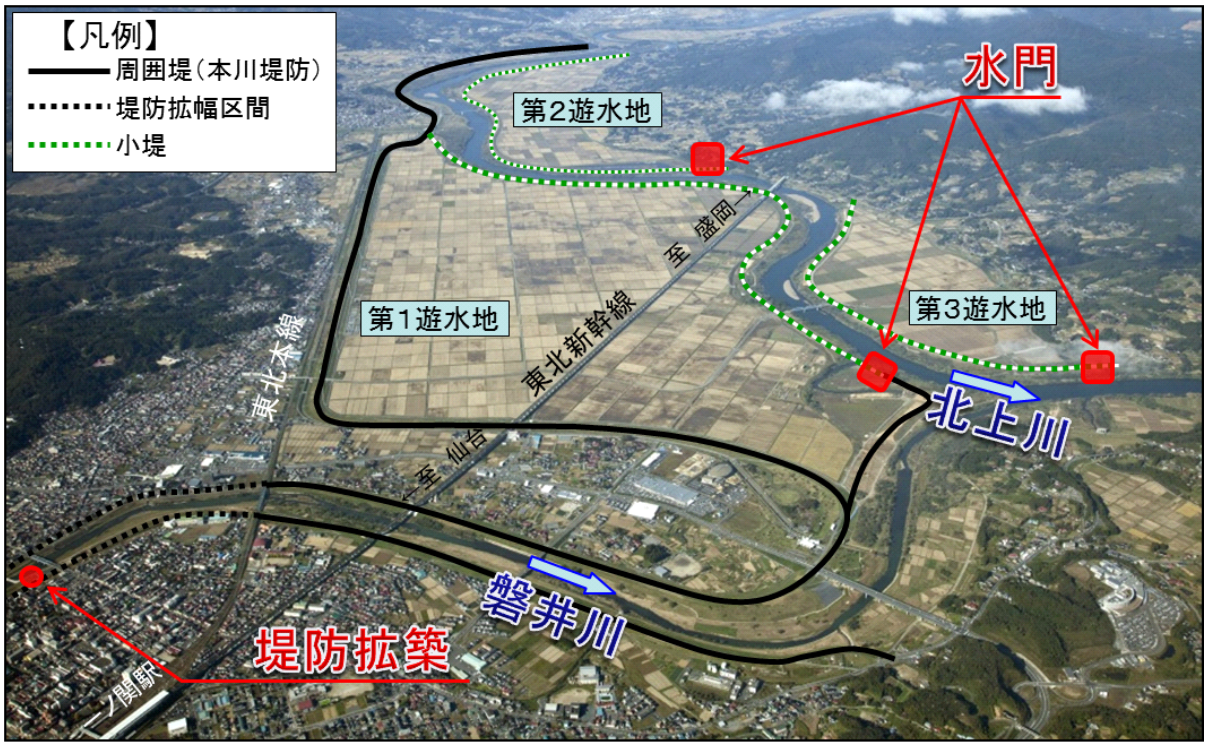
北上川上流域において過去、幾度となく発生している洪水被害を解消するため、「北上川治水の根幹」である一関遊水地を整備し、北上川流域の洪水被害の軽減を図ります。

「事業の概要」

築堤、水門、小堤、管理用通路等の整備を実施し、一関遊水地の早期完成を目指します。



岩手県



平成29年度事業費及び事業内容

○　工事関係費：（4，225百万円）
○　排水門の整備を実施。
　　磐井川堤防改修のための堤防拡築を実施。

事　業　効　果

○　遊水地の整備により、北上川流域の洪水被害の軽減を図ります。
○　磐井川の堤防拡築により、堤防の断面・高さ不足を解消し、治水安全度を向上させます。

砂 防 事 業

「新規事業の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**二双沢砂防堰堤**（八幡平市）

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

「継続事業の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**シガクラ沢砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**荒沢砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**国見温泉砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**竜川第３砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**澄川砂防堰堤**（八幡平市）

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤管理用通路の整備を図ります。

平成29年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：砂防）



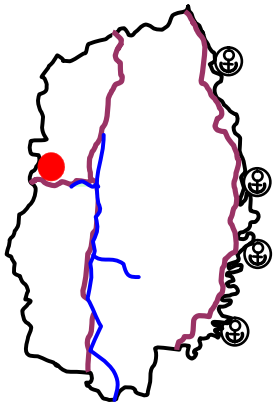
継続事業

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　シガクラ沢砂防堰堤（岩手県岩手郡雫石町）

事業着手：平成２３年度	完成・供用の目標年度：平成３０年度以降完成予定

事業の必要性･事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

シガクラ沢は、秋田駒ヶ岳噴火後の降灰が降雨により土石流となり流れ下ることから、下流にある重要交通網及び人家等、生命と財産を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

シガクラ沢砂防堰堤

構造：コンクリートスリット堰堤

堰堤高・延長：H=27.5m L=81.5m



昭和45年～46年 秋田駒ケ岳噴火時の様子(噴火口は女岳)



位置図

平成29年度事業費及び事業内容

○工事関係費：(740百万円)※（　）の費用は、砂防全体額

○シガクラ沢砂防堰堤本体の進捗を図ります。

事　業　効　果

○土砂災害から、下流の重要交通網及び人家を保全します。

平成２９年度　主要事業の概要

道 路 事 業

「新規事業の概要」

○国道４号 “金ケ崎拡幅”

改築事業（胆沢郡金ケ崎町）

金ケ崎拡幅は国道４号の岩手県金ケ崎町における交通交雑の緩和と交通安全の確保を目的とした４車線拡幅事業です。

平成２９年度は、調査設計等を実施します。

○国道４号 “岩手４号交通安全対策（川久保交差点改良）”

交通安全事業（盛岡市）

川久保交差点改良は、国道４号盛岡市川久保交差点において、交通事故の削減及び交通の円滑化を目的とした右折車線等を整備する事業です。

平成２９年度は、調査設計を実施します。

「継続事業の概要」

○国道２８３号釜石花巻道路 “遠野道路（遠野住田～遠野）”

改築事業　★　（遠野市）

遠野道路（遠野住田～遠野）は、遠野市上郷町平倉（遠野住田ＩＣ）から遠野市綾織町新里（遠野ＩＣ）を結ぶ延長約１１ｋｍの自動車専用道路です。

平成２９年度は、引き続き改良工事・橋梁工事等を促進します。

○国道１０６号宮古盛岡横断道路

“都南川目道路、区界道路（区界～簗川）、
平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草）”

改築事業　★　（盛岡市、宮古市）

「都南川目道路」、「区界道路（区界～簗川）」、「平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草）」は宮古盛岡横断道路の一部を構成しており、宮古市と盛岡市を結ぶ国道106号の線形不良による交通隘路区間の解消を図るとともに、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を促進することにより、被災地の早期復興を支援する道路です。

平成２９年度は、都南川目道路においてはトンネル工事・改良工事。区界道路及び平津戸松草道路においては用地買収・トンネル工事・改良工事・橋梁工事を促進します。

○国道４号 “水沢東バイパス”

改築事業（奥州市）

水沢東バイパスは、奥州市内を通過する国道４号の交通混雑の緩和と東北縦貫自動車道や東北新幹線水沢江刺駅へのアクセス機能を高め、広域的な交流の推進を目的とした、延長９．６ｋｍのバイパス事業です。

平成２９年度は、奥州市水沢区上姉体～朝日町において用地買収・改良工事を促進します。

○国道４号 “岩手４号交通安全対策（一関地区事故対策事業）”

交通安全事業（一関市）

一関地区事故対策事業は、国道４号一関市萩荘～山目地区の歩道整備による通学路の連続性確保及び交通事故の削減、交通の円滑化を目的として右左折車線等を整備する事業です。

平成２９年度は、用地買収・橋梁工事等を促進します。

○国道４号 “岩手４号交通安全対策（青岩地区歩道整備）”

交通安全事業（二戸市～青森県三戸郡三戸町）

青岩地区歩道整備は、国道４号二戸市釜沢～青森県三戸郡三戸町目時地区において、歩行者及び自転車利用者の安全確保を図る目的として、上り線側に歩道を整備する事業です。

平成２９年度は、調査設計・橋梁工事等を促進します。

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

平成29年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：道路）



国道4号　金ケ崎拡幅

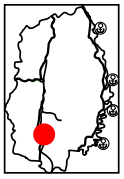
H29：50百万円

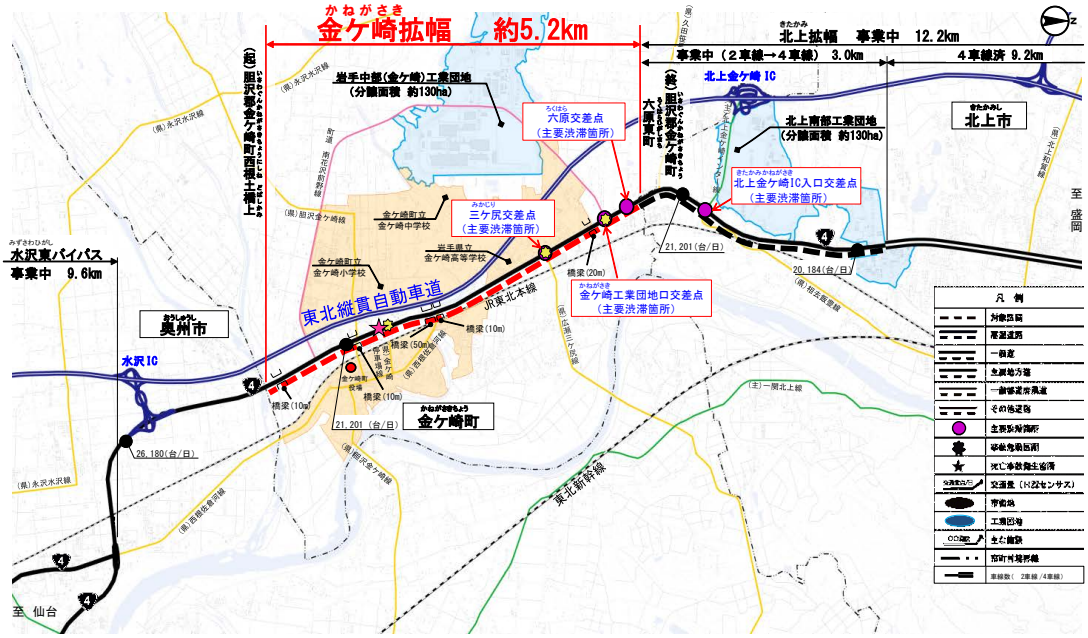
完成予定：　ー

新規	岩手県胆沢郡金ケ崎町	道路	直轄

【事業の概要】

金ケ崎拡幅は、国道4号の岩手県金ケ崎町における交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした4車線拡幅事業です。

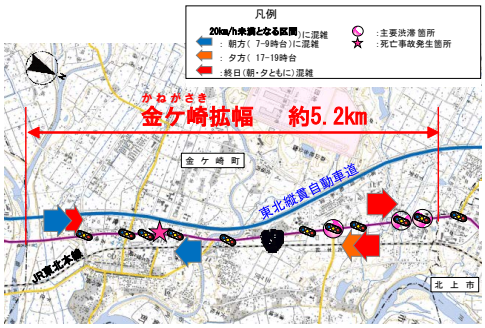




【整備効果】

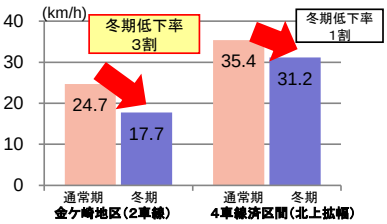
〇混雑の緩和により、円滑な物流を確保し、東北全体の復興・企業活動を支援します。

〇冬期においても時間信頼性が高まり、通勤、物流交通の定時性が確保されます。





▲国道4号の混雑状況



▲冬期速度低下状況

資料　民間プローブデータ(上下平均)

※H22センサス区間の12h平均速度の最低値

（通常期：H28.10、冬期降雪日：H27.12-H28.2）

【平成29年度の事業内容】

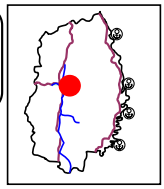
・調査設計等を実施します。

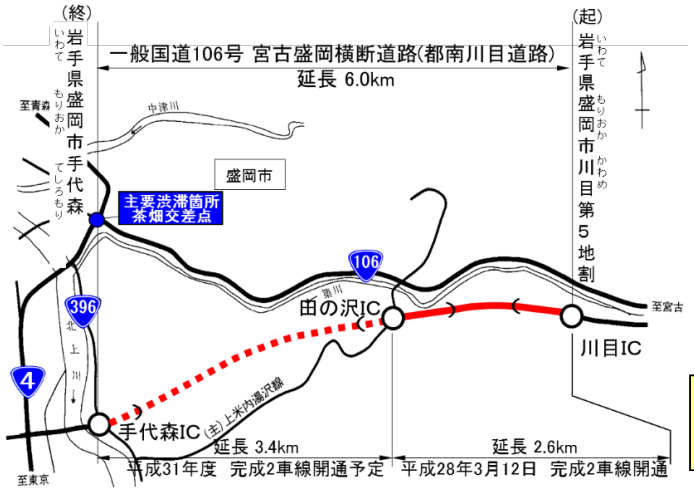
国道106号　宮古盛岡横断道路（都南川目道路）

H29：2,790百万円
開通予定：H31

継続	岩手県盛岡市	道路	直轄

宮古盛岡横断道路（都南川目道路）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援する自動車専用道路です。







▲都南川目道路の整備状況

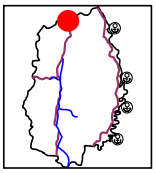
宮古盛岡横断道路（都南川目道路）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

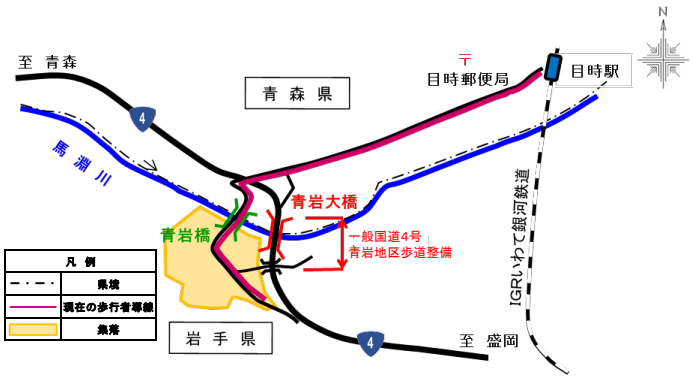
国道4号　岩手4号交通安全対策（青岩地区歩道整備）

H29：222百万円
（青森県111百円、岩手県111百円）
開通予定：ー

継続	岩手県二戸市～青森県三戸郡三戸町	道路	直轄

青岩地区歩道整備は、国道4号の青岩大橋に歩道を整備するものであり、安全・安心な歩行空間を確保する事業です。







▲歩道が無い青岩大橋

歩道が整備されることで、安全・安心な歩行空間が確保されます。